

埼玉地区 東京神学大学後援会「講演会」

「前姿（中世）と後姿（近代）から見た宗教改革」

「人は前の姿と後の姿の変化の両面をみないと理解できません。そのように 500 年前の宗教改革も中世という前姿、そして近代という後姿から見て初めてその目指したものが見えてくるのです。今回の講演ではそうした機会としたいと思います。」

（棚村重行）



日時 2017年10月15日（日）午後3時～5時

会場 日本基督教団大宮教会

330-0844 埼玉県さいたま市大宮区下町 3-39

TEL 048-641-6148

JR大宮駅下車 徒歩7分



プログラム

3:00～4:20 講演 東京神学大学特任教授
棚村重行
4:20～5:00 後援会 東京神学大学財務課
松本秀則

☆どなたでもご参加ください

<棚村重行先生のプロフィール>

略歴：東京神学大学博士課程前期課程修了（1977年3月）、シカゴ大学神学部博士課程修了

専門分野：宗教改革神学思想史、19世紀アメリカ神学思想史、および19世紀の日本プロテスタント神学思想史

主の御名を讃美いたします。

いつも東京神学大学を覚えて、祈りと献金をいただき、ありがとうございます。
今回の埼玉地区後援会主催の「講演会」は東京神学大学特任教授の棚村重行先生をお迎えして、宗教改革500年を覚えて、ご講演いただくこととなりました。日曜日の午後で、お忙しい時ですが、ぜひ、お誘いあわせの上、ご参加いただくと幸いです。

講演会の後に、後援会をいたします。

東京神学大学 埼玉地区後援会

問合せ先：大宮教会 熊江秀一牧師 電話 048-641-6148